

鹿沼ロータリークラブ会報



(2023-2024 年度 RI テーマ)

例会場 日晃そば コンベンションホール TEL : 0289-65-2525

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

事務所 鹿沼市中田町 1351-1 TEL : 0289-60-5077 FAX:0289-60-5078

E-mail: info@kanuma-rc.com HP: http://www.kanuma-rc.com/

第 2550 地区 第 7 グループ

創立 1960 年 1 月 23 日

承認 1960 年 2 月 13 日

会長 高山 英 幹事 橋本 勝浩

例 会 報 告

No. 29 2024 年 2 月 29 日 第 2930 号

- ◆ 司 会 SAA 三品 敏行さん
- ◆ 点 鐘 会 長 高山 英さん

◇いただきます当番・瀬谷 一世さん



- ◆ 斉 唱(曲目) 奉仕の理想



お客様紹介 栃木県議会議員 松井 正一様



鹿沼市下田町で、瀬谷新聞店を営んでおります。17年前の、平成19年4月2日に、足利市から鹿沼市にやっ来てまいりまして、瀬谷新聞店を始めました。昨今、上の新聞が減少していて、インターネットの普及や活字離れが問題視されていますが、このままではいけないと。瀬谷新聞店は、人と人とのつながりとか、人と地域のつながりを理念として大切にしていまして、それをもとにいろいろなことにチャレンジしております。

新築オープンしてからは、牛乳やヨーグルトを新事業として立ち上げたり、フラワーアレンジメントのワークショップを地域の皆さんと開催したり、「瀬谷マルシェ」も年に2回ほど開催しています。

次にチャレンジするのは、国の事業再構築補助金を活用して、4月2日に、中田町に「キーホール」（鍵穴）というカフェをプレオープンさせていただ

くことになりました。そこでは、自家焙煎したコーヒーや鹿沼の地場産の野菜をふんだんに使ったサラダなどのお食事、スイーツなどを提供していきたいと思っています。1階がカフェで、2階がコワーキングスペースで、ビジネスパーソンの方たちや、エデュケーションということで、学びのところを作って、ワークショップやセミナーなどをできるように感じにしました。

鹿沼のニューヨークを目指して、ちょっと斬新なデザインで仕上げておりますので、ぜひ皆さんのお食事のあとやゴルフコンペの後の打ち上げなど、会場が使えますので、そのときはお声掛けください。今後、鹿沼がますますにぎわって、発展していくように武力ですが頑張って盛り上げていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

◇ 会長会務報告 会長 高山 英さん



先日のクラブ合同例会には、大勢の皆様にご参加いただきましてありがとうございました。

これから、7月以降年度が切り替わりますと、市田ガバナー年度が始まりますので、ぜひ皆さんお時間を作ってください、地区大会などいろいろありますが、ご協力いただければと思ひます。

ロータリー財団から、ポリオプラスソサエティの感謝状とバッジが届いております。

対象：市田登さん、櫻井武彦さん、岩本泰史さん、倉松俊弘さん、高山英さん

年間100ドルを継続して寄付をいただけるということなので、次年度はもっとたくさんの皆様にご登録いただければと思ひます。



◇ 幹事報告 幹事 橋本 勝浩さん



- 1 第22回RI台湾囲碁大会のお知らせ
- 2 財団室ニュース3月号
- 3 第7グループIM（インターシティミーティング）
3月10日（日）13:30～登録、14:00開始
日光 ホテル三日月にて
3月14日の振替の例会となりますので、ぜひ出席
いただきたい。
- 4 令和6年度米山記念奨学金賞書締結依頼（人見委員長）
- 5 例会終了後、第9回理事会の開催

◇ 委員会報告 地区大会実行委員長 倉松俊弘さん



先ほど会長からも話がありましたが、先日、3クラブ合同例会がありました。それについて、あるクラブの方から、忠告というか激励というか、ある言葉をいただきました。

今回は、鹿沼ロータリークラブが主幹であるにも関わらず、あの出席率はいかかなものか。我々は鹿沼ロータリーに追いつけ追い越せを目標に頑張ってきました。その鹿沼ロータリーが何とも覇気がない、活気がなく映ってしまう。3月10日にはペッツがある。地区大会も心配である。という言葉いただきました。どうか、いつまでも我々を引っ張っていく鹿沼ロータリークラブであってほしいという言葉いただきました。

他のクラブがやはりいろんなことを心配になっているんだろうなと思いますし、我々が主幹であったということは、大きな意味があるんだろうなと思います。これからペッツやいろんな地区での会議があると思います。最終的には、市田ガバナーを盛り上げ、地区大会を成功させなければと思います。今日お見えになっている松井県議もロータリアンですので、たぶん心配になっているのではと思いますが、ぜひ皆様心を一つにして、ロータリーを考えて、楽しんでいきたいと思っています。よろしく願います。

◇ 報告

◇宇賀神 康明さん

先日の母の葬儀におきましては、皆様の温かいお心遣いをありがとうございました。



◇ 本日のプログラム

◇プログラム委員会

山崎良知さん

◇ 卓話 栃木県議会議員 松井 正一 様

栃木県議会議員の松井正一です。私も、実は鹿沼中央ロータリークラブのロータリアンでして、日ごろから様々ご指導いただいていることを感謝申し上げます。

県議会の近況と、私なりに感じているこれからの鹿沼への思いの一端ということで、お話をさせていただきます。

今日手元に、政務活動の一環で2種類の報告書をご用意いただきました。ご覧いただければと思います。

さて、県議会であります。この1年間を振り返りますと、昨年5月にコロナウイルス感染症が5類に移行することに伴い、県においてもリアルなイベントが各地で催される状況となってきました。

県議会は、議員が50名おりますけども、6つの常任委員会に別れまして、各部局を所管しつつ、県政の発展のためにいろいろな審査、提言をしている状況です。私はこの1年間、農林環境委員会に所属しながら、県においては農政部、環境森林部で様々な課題に携わってきたところです。

昨年今年といくつかの調査にもいってまいりましたが、令和6年1月に、東京の豊洲市場にお伺いして、栃木県の農産物の流通状況も確認してきました。東京スカイツリーにも寄りまして、栃木県のアンテナショップは12年くらい経過をしていますが、こここのところ来場者が、年間123万人ということで、随分来ているということがわかりました。ですが、これは落ちがありまして、栃木県のアンテナショップの隣に若者に人気のあるジャンプショップが誘致されまして、そこに相当数のお客様が若者やカップルが来ているということです。また、他方でその逆隣にはピカチュウとかアニメキャラクターのブースがあるということで、アンテナショップに来る肩が女性を中心に若返りをはかっている。そして、今はSNSの時代ですので、そこで買ったものをどんどんつぶやいてくれるんですね。それがいわゆる顧客が顧客を呼ぶという状況になっているということで、ありがたいところです。また、そのポールポジションを担っているのが、鹿沼の組子でできている、スマホの置台です。830円くらいだと思いますが、本当に大変な人気で、若者も含めて相当買っていくということで、うれしく思いました。

この時期はイチゴが旬でありまして、イトインでイチゴのジェラートなどもやっておられましたけ

ども、店の前でも随分若者が立ち寄ってすぐわきで食べていく。そんな光景を目の当たりにして、これからは栃木の観光を頑張ってもらいたいと思います。

豊洲市場で従事している関係者や仲買人の東京シティ青果などの話によりますと、間もなく2024年問題が訪れるという中で、関西エリアからこちらに輸入する農作物等が少なくなるということが既に言われていまして、そういう意味では栃木県産に頑張ってもらいたい。そういった話を承ってきました。

私も議会でずっと言ってきましたが、今あらゆる産業において労働人材、就業人材の確保育成が重要な局面を迎えています。新卒者を含めた労働力を確保することが本当に大きな課題になっていることから、第1次産業や林業においても、いろいろ考えていくことが必要だろうと思います。

林業にまつわる話ですが、この4月から栃木県は林業大学校が開校いたします。宇都宮市下小池町にあります、従来の林業センターがリニューアルするわけなのですが、1年間のカリキュラムで15名ずつ林業事業者を確保すべくスタートするものです。すでに建物は概成しておりまして、その中の1階メインホールは、ほぼ鹿沼一色でした。鹿沼材が随分使われています。そして、こちらのロータリアンである斎藤正さんの会社が貢献されまして、ものすごい丸太が、シンボリックに4本立っているのですが、まさに高見林業さんの丸太そのものという状況でした。それから、宇都宮工業高校が今頑張っていますが、鹿沼組子というモチーフの中で、建物の構造材として壁に埋め込むようなものが今あちこちでやられているのですが、それもありました。そういう意味でのメイドイン鹿沼と言いますか、そういうことが林業大学校に入っていく。実はこの林業大学校は、超党派で、自民党の議員さんや私も含めて声高に叫んできた内容であるのですが、私もそういう局面を迎えることができ大変うれしく思いますし、林業や木材関係のロータリアンの皆様がいらっしゃるかと思いますが、そういった地場産業の元気を考える面でも、ぜひ頑張ってもらいたいと思っています。

さて、県議会については、第399回通常会議が行われておりまして、約9400億円の当初予算案の審査、それから質問が終わりまして、今日も補正予算の常任委員会がありましたが、これから予算特別委員会を経て、3月19日にはすべての議案が可決される見通しであります。私も少しでも貢献で

できればと思っています。

話は変わりまして、鹿沼の話です。自己紹介も交えながら話をしたいと思います。私は今58歳で、地元の高校を出てからすぐに鹿沼市役所に入庁しまして、市役所には19年3か月、そしてそのあと37歳で鹿沼市議会議員として2期目の途中までということで、5年ちょっと経験させていただきました。その後、今鹿沼市長を務めておられます、佐藤信市長が当時民主党の県議会議員でしたが、その空いていた議席に私が飛び込むという風なことで、今県議5期ということで今日に至っている状況でございます。そんな中で、今日なぜその話をしたかと言いますと、ここの西茂呂土地区画整備事業、実は私も職員時代に3年間従事することができました。昭和63年度から平成2年度までの3年間であったのですが、その当時はバブルで予算があふれていまして、当時西茂呂土地区画整備事務所に配属になったのですが、23名の職員に対して予算が23億付きました。職員1人あたり1億円消化しなくてはいけないということで、私は保証係と言って、建物や工作物の移転についての係だったのですが、本当に真剣になってこの街づくりに携わったことが記憶に新しいです。そんな中で、当時この135ヘクタールのまちづくりというものは、鹿沼の今後を占う重要な話として、計画人口10800人の西茂呂土地区画整備事業が成功するか否かが、今後の鹿沼全体の、とりわけ宇都宮方面に向けての発展の1つの証、そういう話も合った中で様々な方のご尽力により、それなりに発展した街になってきた、ロードサイドショップもできてきた。そんな中で今の時代を迎えたということは、当時からすると到底想像がつかなかった話でした。

一方で、表裏一体の話ですが、2011年、東日本大震災がありました。その年は統一地方選の年でありまして、私も選挙戦の真っただ中でした。ところが3.11を皮切りに、ガソリンスタンドは並ぶし、計画停電はあるしで、鹿沼市の被害が一番ひどかったのは黒川の河岸段丘で出来上がった、この東武高台地区です。地盤がスポンジのように揺れたんでしょうか、大半の瓦屋根が落ちて、大変な状況であったと思います。そういったことも含めて、今回元日の能登半島地震、県議会の中でも、栃木県も改めて「備えあれば」ということで、西茂呂も宅造はできたけれどもそういう被害に見舞われた中で、ある意味弱点も分かった。そういうことも含めると、

これからの備えでどうあるべきかということも課題の一つだということを考えたところです。

さて、鹿沼のこれからについてですが、私が市職員時代に、たまたま19年3か月在職していた中で、15年3か月事務職員ではあったのですが、建設関係の職場にずっと携わっておりました。特に13年間は土地区画整理に、2年間は県に派遣ということで、ちょうどここから連なるさつきロードの用地買収の担当をやってまいりました。振り返りますと、やっぱりまちづくりに携わることが非常に多かったという印象です。そして、まちづくりについては、鹿沼市は平成に入ってからすぐに、中心市街地活性化計画といって17.7ヘクタールの計画があったのですが、当時地元の商店街の方含めて多くの方々にご参加いただき、いろんな計画をつくってまいりましたが、いわゆるスプロール現象とか様々な問題で人口が流出したりとか、商いが変わったりとか、深刻な課題にもなっているのではと思います。さきほど瀬谷さんから新たなカフェのご報告があったと思いますが、改めて、鹿沼の場所場所のこれからの具体的な仕掛け、まちづくりの仕掛け、これがどうあるべきかが問われてくるのではと思っています。聞き及んだところによると、街中の空き店舗などを利用して、宿泊施設を誘致する動きや商店を誘致する動きや、いろんな話が飛び込んでまいります。個人的には非常に歓迎です。ただ、そのことを行政主導ではなくて、むしろこれからそういう個人、または民主導も含めていろいろな媒体いろいろな事業体の方々まちづくりに参画する、そんなことも必要ではないかと思っています。なぜならば、私は役所にいて思ったのですが、バブルのころなんかは特にそうでしたが、予算が目の前にぶら下がって、その予算消化のためにつまらない報告書を作って終わりにするという場面もいっぱいあったんです。それは活きた税金の使い方をしていないのではないかと、そういうことも鑑みますと、これからは限られた予算ではある。しかしながら、予算がないないということではなく、どうやって予算を生み出すか、どうやってやるのが可能か、例えば、先ほど事業再構築の話もありましたが、どういう支援制度があるのか、そんなこともみんなで情報を持ち寄ってこの鹿沼を作りあげる、そんな体制ができたらいんじゃないかとつくづく感じております。

私はもともと西北部出身の立場で、田舎で生まれ育って今日に至るのですけども、今は上殿町に住ん

でいる中で、いろいろな動きの中で鹿沼の未来を、人口減少などの課題も追究しつつ、どういうまちづくりがふさわしいかということ、役所だけではなくて、専門的な知識を持っている方やいろんな方に参画していただいくことが面白いのではと思っています。例えば一例ですが、国レベルでは、経済団体、金融団体、行政団体などいろんな方が一堂に会して、協議の場を作っているケースが多々あるのですが、自治体でやっているところもありますし、鹿沼でも各界の方にお集まりいただいて、専門的な見地から鹿沼のまちづくりに対して、ある意味ダメだし、展望、いろんなことをやってもらうのもいいんじゃないかと思っています。ともあれ、私たちがこれまで生まれ育ったふるさと鹿沼市。私はこの町が大好きですが、しかしながら、課題をみなさんと共有し、どう克服していくか、そのために今私は県議会議員として頑張っておりますが、ロータリーにあります奉仕の精神とか、いろいろな角度からみんなの力を合わせて、「鹿沼、ちょっと良くなったかな」「みんなで頑張ろう」そんな雰囲気醸し出されればいいんじゃないかと思っています。そのためにも、ロータリークラブの皆様にも、これまでも様々な地域貢献、人づくりや救済事業をやられていると思いますが、力を合わせてみんなで地域を盛り上げていく。そして、ロータリー活動を通じてますます私たちも幸せになる、そんなことが実現出来たらと思っています。

貴重な時間をお与えいただきまして、ありがとうございました。

質問

Q 県立高校の合併について

A およそ4年後を想定していますが、鹿沼商工と南高校が合併するという提案が出されました。基本的に鹿商工の場所に統合になる。しかしながら、南高の方にも、今まで言うところのいわゆる定時制のところ、南高の方にいくこととなります。南高には、農業や林業様々なコースがありますが、それらをどういう風にするのかを、今後現場の先生方やいろいろな方と具体的な計画にしていこう、ということが県議会では現在発表になっています。

これについてはすでにいろいろな方からご意見があるのですが、これはまさに関係する方々と意見を交わしながらより良い方向性を求めていくことになるかと思っています。

工業高校については、今市工業高校、日光もすべ

ての高校が統合になる兼ね合いの中で、工業課が鹿商工の方に新しく新設されるということも発表になっています。今後、忌憚のないご意見などをいただければと思います。

Q プロモーションや市職員について

A いちご市以外にも、地域資源として高いポテンシャルがあると思う。プロ野球選手、卓球選手などスポーツ界でも有名な方がいる。

私はありとあらゆる角度で鹿沼市のプロモーションを深化することが必要だと思っています。栃木県はいちご王国として、55年連続で日本一ということで売り出していますので、その役割もいちご市としてやっていきたい。

私も職員出身で、非常に懸念しているのは、予算がない中で事務の執行に追われている職員のモチベーションが下がっているのではないかとということです。私はよく、職員目を見てよ、というのですが、なんとなく目がよわよわしい職員もいます。やっぱり市民のために仕事をするので、市民の皆さんに元気を与えることを考えると、少なからずの職員が健康で元気でないといけないので、いかにしてモチベーションを上げるかが課題の1つだと思っています。市民の健康もそうですが、鹿沼市役所も健康になってほしいと思っています。



◆ スマイルBOX

松井正一様 : ⑤ 本日は貴重な機会をありがとうございました。

高山 英さん : ⑤ 松井正一様、本日は公務多忙の中、例会にご参会、卓話をいただきましてありがとうございました。益々のご活躍をお祈りいたします。

倉松俊弘さん : ⑤ 松井県議、本日はお忙しいところ、卓話をいただきありがとうございました。

星 高広さん : ⑤ 松井さん、本日は卓話をありがとうございます。ぜひ政治力でさつきロードの無料化の実現、お願いします。

山崎 良知さん : ⑤ 松井先生、本日はありがとうございました。これから歓送迎会、お花見等の季節ですが、飲みすぎにお互いに気を付けましょう!!

市田 登さん : ⑤ 松井様 すばらしい卓話ありがとうございました。

若松伴睦さん : ⑤ 先日は、春の陽気のゴルフ日和。敬愛する鹿沼ロータリーの先輩方にも遭遇し、楽しい一日。さて、私のスコアですが、一桁目は末広がりの8、二桁目はこぼしたビールがにじんで読めません。三桁目があるかのご想像にお任せします。というか、ご想像のとおり。

※①結婚記念・②本人誕生・③夫人誕生・④出席記念・⑤その他

出席率報告

会員数	出席数	前日/月	免除	欠席	出席率
63	42	0	0	21	66.67%

◆ 点 鐘 会 長 高山 英さん

● 市田ガバナー年度に向けてのスケジュール

2024年

- ・ 2月18日(日)
24-25 地区チーム研修セミナー
- ・ 3月17日(日)
24-25 会長エレクト研修セミナー (PETS)
24-25 幹事エレクト研修セミナー (SETS)
- ・ 4月14日(日)
24-25 地区研修・協議会
- ・ 5月25日(土)～29日
RI 国際大会 シンガポール大会
- ・ 7月～12月
ガバナー公式訪問
- ・ 11月8日(金)
地区大会記念ゴルフ大会
- ・ 11月30日(土)
24-25 地区大会会長幹事会 晩餐会
- ・ 12月1日(日)
24-25 地区大会 本会議

● 次回 3月第1例会 3月7日(木)

第1例会 諸慶事祝い

場 所 : 日晃そば コンベンションホール

時 間 : 12時30分～

(発行責任者 : 鹿妻 武洋・岡村貴史)